

夢は大きく、目標は小さく

18日間の冬休みが終了しました。冬休み中はお家で過ごす時間が長かったことと思います。お正月は、日本人にとって特別です。家の中で、ゆっくりおせち料理を食べたり、年賀状を書いたり読んだり、新年の抱負を考えたり・・・、お正月らしさを味わうことができたでしょうか。お正月の言い習わしの一つに「初夢（年が明けて初めてみた夢）がその年の運勢を占う」ということがあります。昔の人は縁起のいい夢の中身を「一富士二鷹三茄子（いちふじ にたか さんなすび）」と言いました。皆さんは、縁起のいい初夢をみることができたでしょうか。ここでは、その夢とは、少し意味が異なりますが、「夢」にちなんだお話をしたいと考えています。題して「夢は大きく、目標は小さく」です。

ソフトバンクの孫正義会長は『その人の人生はおおむね、その夢の大きさに決まる。その夢は最終的に80%達成されるかもしれないし、50%かもしれない。しかし、夢が大きくなければ、その可能性は広がらない。』とお話されています。孫さんのお話のとおり、大きな夢をもつことは、皆さんの可能性を広げることにつながるのだと思います。

ここでは、大きな夢をもち現在進行形で自分の可能性を広げている人の1人として、メジャーリーグ・エンジェルスの大谷翔平選手を取り上げます。1年生の皆さんには、入学式の式辞で、大谷選手を例に「夢と目標をしっかりとってください」というお話をしていますから、覚えている人もいるでしょう。大谷選手は中学生の頃から、メジャーリーグで活躍をするという夢をもち続け、その夢を現実のものとししました。ただ、夢をもつだけでなく、夢を叶えるための目標を計画的に設定し、努力を重ねた成果でもあります。

みなさんがお正月に考えた「新年の抱負（誓い）」は、1年間の目標ということになります。大谷選手も、自分の夢をかなえるため、目標を具体的に立てました。高校時代の目標の一つに、「160キロのスピードを出すこと」というのがあります。その目標を達成するために、「下半身の筋力の強化」「体重増加」などに取り組む計画を立てたと聞いています。他には、「人から応援される人間になること」という目標もありました。目標達成のため、「あいさつ」「ゴミ拾い」などを継続して行ったそうです。

目標の設定では、夢を叶えるために必要な、具体性のある内容を考えることが大事です。「夢は大きく、目標は小さく」の「小さく」というのは、まずは「計画的に確実に取り組めば、達成できる、手が届く範囲のもの」と考えればいいのでしょうか。

こんなお話を聞いたことがあります。ある人が、マラソン大会に参加したときのことです。距離半ばで、疲れのため身体が思うように動かず、走るのをやめようかと思ったちょうどその時、300m先の木が目に入ったそうです。何とかそこまで走り、次は電柱を見つけ・・・小刻みに目標を決めたことをついに完走することができたという内容です。

同じような経験をした人は多いと思います。私はこのお話から、目標は連続して設定することに意味があるのだと感じました。「夢は大きく、目標は小さく」の「小さく」は「小刻みに連続させるもの」と考えてほしいです。（出典：「実践目標は小刻みに」下村湖人）

今日から後期後半が始まります。「夢は大きく、目標は小さく」を念頭に置き、自分の夢に向かって、計画的に確実に、1日1日を過ごしていきましょう。

熊谷市立三尻中学校長 田沼良宣